

石巻市立学校施設災害復旧整備計画
【門脇地区】

平成26年3月

石巻市教育委員会

石巻市立学校施設災害復旧整備計画【門脇地区】

1 これまでの経過と背景

東日本大震災で大きな津波被害を受けた小・中学校 14 施設のうち、平成 24 年 3 月策定の石巻市立学校施設災害復旧整備計画により、具体的な方向性が定められた施設については、復旧に向けた取組みが順次進められているところである。

しかしながら、門脇小学校については、住民説明会や保護者懇談会で多様な意見が寄せられたことから、結論を見出すまでには至らず、平成 24 年度末までに検討を行うこととした。

このため、教育委員会では、市民や保護者からの幅広い意見を伺いながら、整備計画を定める必要があると判断し、石巻中学校及び門脇中学校を通学区域とする小・中学校の父母教師会や町内会の代表者で組織する「石巻市立門脇小学校統合・再編等計画策定検討委員会」を設立した。

検討委員会では、数回にわたる検討を行った結果、門脇小学校の児童の心のケアに十分な配慮を行うことを前提に早急な学習環境の改善が図られ、また、多様な考え方に接することができる適正規模の観点から、「早急に門脇小学校と石巻小学校を統合することが望ましい。」とする結論に至った。

一方、門脇小学校保護者へのアンケート調査においては、門脇小学校と門脇中学校の併設や門脇中学校を使用した門脇小学校の存続を求める意見のほか、石巻小学校や周辺の小学校を含めた再編を求める意見などが寄せられたこともあり、また、門脇地区における復興公営住宅に係る居住希望者の事前登録受け付けが平成 25 年 9 月から予定されるなど、平成 24 年度末の段階では将来的な門脇地区の人口形成が具体的に見込めない状況であったことから、教育委員会としては、引き続き検討を行うこととし、最終的な整備計画の確定には至らなかった。

このことから、今回、門脇小学校に在学している児童の保護者への再度のアンケート調査及び門脇復興公営住宅事前登録世帯に対するアンケート調査を実施するとともに、門脇復興公営住宅の事前登録に基づく将来的な人口形成の推計を踏まえ、さらに、これまでの検討経過なども加味し、次のとおり整備計画を策定したもの。

2 策定方針

平成 24 年 3 月に策定した石巻市立学校施設災害復旧整備計画は、「より早い教育環境の正常化」、「津波被害からの安全を確保した学校の配置」、「学校の適正規模」の 3 点から検討を行っており、門脇地区についても、同様の視点のほか、将来的な人口形成にも着目し検討を行うこととした。

3 門脇小学校の現状について

門脇小学校は、東日本大震災の津波で被災し、校舎は 1 階床上 2m、体育館は床上まで浸水したほか、津波で運ばれてきた車両からの出火により校舎が延焼を被っている。また、門脇小学校通学区域内のほとんどが非可住区域となった現状や復興公営住宅に係る居住希望者の事前登録の状況を踏まえた場合、児童の大幅な減少は避けられない見通しとなっている。震災以前に見込まれた平成 23 年度の児童数は 12 学級 281 人であったが、平成 26 年 3 月現在においては 8 学級 153 人まで減少し、その内の 55 人が学区外就学となっている。

現在、門脇小学校は、門脇中学校校舎の 3 階部分を間借りして授業を行っているが、中学校規格の校舎や設備のほか、遊具も十分に無く、さらには、校庭や体育館を門脇中学校と調整しながら使用するなど、十分な教育環境が確保できていない。

4 復旧整備計画

《計画》

平成 27 年 4 月に門脇小学校を石巻小学校に統合して、石巻小学校の現校舎を使用する。また、市内中心部における小・中学校の学区再編に向けた検討を進める。

《説明》

【学校の適正規模についての考察】

震災後における門脇小学校の児童数の減少は、特に著しく、本来あるべき学習環境の確保が困難となっている。普通学級における平成 25 年度（3 月現在）の児童数は、152 人となっており、今後、門脇地区に整備される復興公営住宅の入居世帯による増加要因はあるものの、学区外や区域外通学に係る平成 26 年度入学児童（住民基本台帳人口 13 人－学区外通学等に係る児童数 10 人＝入学児童数 3 人）と同様の状況が、今後も続くと見込んだ場合、平成 35 年度には 34 人まで激減し、将来的には全学年が複式学級となる可能性さえある。

一方、石巻小学校についても、平成 25 年度（3 月現在）の普通学級児童数が 280 人であるものの、平成 35 年度には 209 人まで減少し、各学年 1 学級となるものと見込まれる。

このような状況の両校が統合することにより、平成 21 年度に策定した「石巻市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に掲げる「豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成」に向けた環境が整う。

【より早い教育環境の正常化についての考察】

門脇中学校校舎の間借りによる授業は、校舎・体育館・校庭（遊具含む）・プールなどの施設・設備面において、十分な学習環境が確保できないため、その改善については、早急な対応が求められる。

門脇小学校と石巻小学校の 2 校を統合した場合の児童数は、普通学級では統合初年度の平成 27 年度に 12 学級（各学年 2 学級）、361 人がピークとなり、特別支援学級を併せても、石巻小学校の校舎に収容可能となることから、十分な教育環境が早急に確保できる。

【津波被害からの安全を確保した学校の配置についての考察】

石巻小学校の校舎は、鉄筋コンクリート造 3 階建て、一部 4 階建てであり、3m 以下の浸水に対する安全性が確保される津波避難ビルの構造的要件を備えている。また、海岸防潮堤や河川堤防の整備による減災が図られるほか、背後には高台があり、緊急時の避難が容易に行える地理的条件を備えている。

《今後の対応》

門脇小学校は、平成 26 年度末まで門脇中学校校舎等での間借りを継続するとともに、その間、門脇小学校と石巻小学校の学校間交流を 1 年間行い、統合に向けた準備を進める。

また、石巻小学校との統合により、山下小学校及び大街道小学校並びに石巻中学校及び門脇中学校を含めた学区の再編も早急に検討する必要があるため、平成

26年度から、復興の進捗に伴う復興公営住宅や区画整理事業等を踏まえた将来の人口形成を見通しながら、再編に向けた検討を進める。

《普通学級における児童数の長期見込み》

(門脇小学校)

(単位：人)

| 年 度 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 児童数 A | 152 | 114 | 88 | 71 | 57 | 45 | 37 | 39 | 37 | 35 | 34 |
| 学 級 数 | 7 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

(石巻小学校)

(単位：人)

| 年 度 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 児童数 B | 280 | 281 | 272 | 275 | 262 | 239 | 237 | 224 | 215 | 205 | 209 |
| 学 級 数 | 12 | 12 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 8 | 7 | 6 | 6 |

(門脇小学校と石巻小学校が統合した場合の普通学級の推移見込み)

(単位：人)

| 年 度 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 児童数 (A+B) | 361 | 347 | 320 | 285 | 275 | 263 | 252 | 240 | 243 |
| 学 級 数 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |

(平成26年度以降の門脇小学校児童数及び普通学級数の見込み)

(単位：人)

| 平成26年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 児童数 | 3 | 13 | 18 | 19 | 29 | 32 | 114 |
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |

| 平成27年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 児童数 | 6 | 3 | 13 | 18 | 19 | 29 | 88 |
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |

| 平成28年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 児童数 | 7 | 7 | 4 | 14 | 19 | 20 | 71 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 5 |

太枠は、複式学級を示している。(以下同じ。)

| 平成29年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 児童数 | 6 | 7 | 7 | 4 | 14 | 19 | 57 |
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 5 |

| 平成30年度 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 児童数 | 7 | 6 | 7 | 7 | 4 | 14 | 45 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 |

| 平成 31 年度 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 児童数 | 6 | 7 | 6 | 7 | 7 | 4 | 37 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 4 |

| 平成 32 年度 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 児童数 | 6 | 6 | 7 | 6 | 7 | 7 | 39 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 |

| 平成 33 年度 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 児童数 | 5 | 6 | 6 | 7 | 6 | 7 | 37 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 |

| 平成 34 年度 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 児童数 | 5 | 5 | 6 | 6 | 7 | 6 | 35 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 |

| 平成 35 年度 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 児童数 | 5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 7 | 34 |
| 学級数 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 4 |